

なみ

1月号
vol. 215

2025

賀年
謹新

「蛇のぬいぐるみ」
長橋公園（長橋2丁目2の1）にて撮影

おとなの 社会科

特集

第18講 地理 — 関帝廟

おとなの 社会科

第18講 地理 — 関帝廟

昔、使った教科書をパラパラめくってみると、あの頃には気づけなかった面白さがみえてきた——そんな経験はないだろうか。学校の教科書は昔と同じではない。だから、大人になってからの学び直しも決してムダではないはず。学校に通ってた頃を思い出して、もう一度、目の前に広がる社会を学び直してみませんか。

西成にできた関帝廟

2023年12月2日、西成に「関帝廟」という中国の宗教施設が建設された。以前から「中華街構想」で注目を集めていた場所である。本誌では昨年10月号の表紙でこの施設を取り上げさせてもらった。今回はその西成の新しい街の姿をさぐってみようと、施設を訪れた。

読者のみなさんをご存知であろうか、関帝廟は中国ではよくある宗教施設で、世界各国の中華街でも必ず建設されているところである。日本では函館から那覇まで全10箇所、近畿では神戸や宇治、那智勝浦、大阪市内にも2箇所ある。西成の関帝廟は最も新しいものではないだろうか。

あの英雄が祀られている

で、「その本尊は？」ということ、あの『三国志』に登場する関羽で

ある。世によく知られている『三国志』は、歴史書よりもそれを基に創作された長編白話小説『三国志演義』である。中国本国でも『演義』に登場する、信義や義侠心に厚い武将として関羽は人気があり、後世の民衆によってさまざまな伝承や信仰が付与され、王朝によっても神格化されていった。

また、民間伝承のなかには関羽が出身地の縁で塩の密売に関わっていたとするものがあり、商売の神としても祀られるようになった。関羽は中国の草の根的な人気をベースにして神格化された人物なのである。華僑が行く先々の中華街で関帝廟を建てるのも納得できる。

関帝廟では、たいていの場合、関帝を中心にして右側に養子の関平（正史では美子）、左側に配下の武将・周倉がセットになって配置されているが、この西成の関帝廟にはさらに外側に二人の神様



関帝像



文昌帝君像



媽祖像

が祀られている。向かって右側にいる文昌帝君は、北斗七星を成す四つの星（文昌宮）が神格化されたとする説や唐の優れた文筆家・張亜が神格化されたという説があるが、今では学業の神様として人気を博している。向かって左側の媽祖は航海や漁業を守護する道教の女神。福建・広東・台湾を中心に信仰が篤く、福建省湄洲島に祖廟がある。関帝・文昌帝君・媽祖

西成の関帝廟の三神



明石千鶴子さん

が所有するビルの清掃をしていて、関帝廟ができてからはその施設管理を任されている。
 なんでも気さくに話してくれる明石さん、話好きなのが伝わってくる。会話を楽しんだり身体を動かしたりするのが性に合っているという。「ずっと座りっぱなしだからかえって疲れる。前の清掃の仕事のほうがよかった。」なんて軽く愚痴をこぼしていたが、その座りっぱなしの時間を使っ



外には線香立て(大香炉)があるばかり

の三神が同じところに祀られているのは珍しく、この廟を建てた人びとの信仰の篤さをうかがわせている。
 ところで関帝・文昌帝君・媽祖のいずれも実在の人物を起源にもつ。道教の神様にはこのように実在した人物を神格化させたものが多いらしい。日本でも菅原道真や豊臣秀吉、徳川家康など実在の人物が神として祀られている神社がいくつもあるが、道教の影響



外に向かって参拝

響が色濃く残っているのだろう。
参拝の方法
 取材に行ったこの日、参拝に来た人はそれほど多くはなかったが、これらの所作が気になった。こんな具合である。
 膝をついて正座し、顔の前で手を合わせたまま前屈し、同時に合わせた手を離して手のひらを地面につけ、丁寧に3回お辞儀する。この所作をそれぞれの神様の前

で行うのだが、その前に三神を背にして外側に向かって1回この参拝の所作を行う。
 参拝に来た神様を背にして何も無い外を拝むとはどういうことなんだろう？ 来廟者の一人、李さんに尋ねたところ、天空と大地に向かって拝んでいるのだという。どうやら自然との調和を目指す道教の参拝の作法らしい。

い縁を大切にしているのだろう。
 林会長は福建省福清市出身で1997年に来日した。最初に来たときから西成に居住し、しばらくは建築現場の仕事に就く。1、2年後に友人の紹介でラーメン店を開業して6年、それから住まい近くの西成でカラオケ居酒屋を開業した。この居酒屋経営が軌道に乗り、不動産会社を設立、そして2017年12月に地元西成の会社経営者が中心の集まりである「大阪華商会」を結成した。関帝廟は、西成に来て以来、約四半世紀の林会長の活動の賜物という一面を持っている。

て関帝廟に祀られている神様のことや施設内に流れているお経の写経などきっちりノートに取って勉強されている。来廟者のカウントや記録も取られており、貴重な資料になるにちがいない。
少しずつ 根付いていく場所
 ここを訪れる人びとのことを少し聞かせてもらった。訪問者は1カ月で150名ほど。多くは三

日に2回ほどやってきて「線香つけて」と明石さんに声をかける障害を持った方もいる。また、最近では観光名所の一つに数えられているようだと言っ。観光ガイドが20名ほどの外国人観光客を引率してやってくるケースが少し目立ってきた。
 日本人観光客が迷い込んでくることもあるらしい。商店街の通りから少し奥まったところにあるのにどういいうわけだろう。

李さんは2003年に来日して貿易関係の仕事をしている。住吉大社の近くにある住まいからわざわざ西成の関帝廟に参拝に来るのは、篤い信仰心はもちろんのこと、この廟を建立したグループの中心人物である林傳龍(リデンリウ)会長との古

廟と西成をつなぐ人

この廟の管理をされている明石千鶴子さんにお話をうかがった。明石さんは林会長とは20年先の付き合いで、はじめは林会長がオーナーを務める居酒屋「明」の店長をしていた。その後、林会長



明石ノート

空に神様が大勢集まる」とされる旧暦参拝日(旧暦の1日と15日)に来ている。付近のカラオケ居酒屋のママ(明石さんの知り合いも多い)、商売をしている人、病気を患っている人が常連層のようだ。その中には一

と、嬉々として関帝の写真を撮っていくそつである。
 日々の習慣として訪れる人、観光ツアーで訪れる大勢の人、たまにまで訪れてしまった人、訪れた人の数だけ地面は踏み固まっていくな。新しい街の萌芽がここにも現れている。

文責：若松司



400円、焼き肉弁当650円などリーズナブルな価格。昨今の値上げブームの中でこのお値段はとってもありがたい。オムライスも600円〜とこちらもお求めやすいお値段。

「ドン」とでてきたオムライスは写真と全く遜色のないカラーでインパクト大。テイクアウト用の器にきれいに収まっている。それぞれに美味しそうな

匂いがして急いで持ち帰る。いざ実食。さすがに一人では食べきれないので緑のオムライス(ネギ&じゃこの和風ピラフにポン酢をかけて)は職場の女の子に食べてもらうが、あっさりしていて美味しいと好評。筆者も王道の黄のオムライスと黒(ガーリックライス&色の秘密は竹炭)と白(黄身入りケチャップライス)を白身で包むを一気に食べる。どれもご飯がぎっしりでボリュームたっぷり。それぞれ個性があつて美味しいがガーリックのパンチが効いた黒のオムライスが筆者はお気に入り。3個全部食べるつもりだったがボリュームがあるので2個半で断念。残り半分を食べてもらい完食! この価格でこのお味は大満足でした。今回はオムライス単品で頼んだが、唐揚げやコロッケなどのおかずもあり、次はセットで頼みたいところ。

ちなみにオムライスの起源は西成のすぐ近く、浪速区の汐見橋にあった大衆洋食屋「パンヤの食堂」(現在の北極星)の主人さんが常連客にケチャップライスを薄焼き卵で包んで提供した



ものを「オムライス」と命名したとのことだが、諸説あり。「なるほどな」と思いながら偶然見つけた今回のお店、偶然筆者が好きなおムライス発祥の地がすぐ近くにあったなど、卵の神様のお導きなのか偶然が重なった今回の取材は新しい1年の幕開けとしては非常に幸先の良いものであった。

文責…笹川勝正

金の羽根たまご

住 所…西成区岸里東1丁目21の17

ブライイト岸里1F

営業時間…10時~21時

※祝日は19時、月曜日は20時まで

金曜日14時~17時は閉店

定休日…日

電話番号…06-66629-8873

にしなりもん

食いだおれの街・大阪ミナミのさらに南の街・西成。
まだまだ発掘されていない「にしなりもん」を味わい尽くします。

カラフルオムライスで
新年に彩を!
「金の羽根たまご」

卵料理が大好きだ。目玉焼き、だし巻き卵、ラーメンの煮卵などどれも好きだが「卵あるから何かつくるよ」と言ってくれたら、オムライスをお願いする。「ケチャップライス作るの大変だろ!」というツツコミはなしにしてほしい。

そんな筆者が西成区役所から東方面に偶然車を走らせていると目に飛び込んできたのが、「お弁当とオムライス」という言葉と外壁に描かれた大きなオムライス。「これは!」と思い「金の羽根たまご」さんを訪れる。マンションの1階にあるお店の青い外壁に、卵の黄色とケチャップの赤がとも映えている。テイクアウト中心だが、入口に備えてある簡易なテーブルとイスで食事することも可。

さて早速注文。入口に備え付けのオムライスメニューを見ると、「黄」「白」「緑」「黒」のオムライス! 写真を見る



と本当にその色のオムライスになっていて、これはなんだろうと思いつつそれぞれ注文。出来上がりを待っている間にもお客さんや宅配が来店し賑わってくる様子。お店の方に聞くと、オープンして12~13年が経ちテレビの取材も過去にはあったとのこと。

メニューにはオムライス以外にも定番の唐揚げ弁当や丼もの、カレーなど多種多様、何より嬉しいのがのり弁当

[田岡秀朋]

阪神大震災から30年。当時の僕と同じ年齢になった長男。無事息災を願うだけでなく、もう一度備えよう。



[笹川勝正] 最近家に帰るとすぐに寝てしまうので体内糖化度検査(AGEs)を受けてみました。老化物質の蓄積状況がわかるとのことでしたが「異常なし」。では何が原因なのか…



[沖田一志]

現在、販売されているPCに付属のOfficeにはバージョンが2021が2024の2種類があります。2021のサポート期限は2026年10月までなので、ちょっと高いけど2024を選ぶのがおススメです。



[磯拓哉] 12月に入ってうれしいことに忘年会や飲み会が続いています。30代に入りよいよ健康というものを意識しました今日この頃。年末年始はお酒控えようと思います(笑)



些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。いいこと思いつくかもしれないし。気づいたら西成にたどり着いていた、或るオタクのブイブイ系コラム。

『NINJAあるいは還暦単車(バイク)乗りの話』

「終の棲家」や「あがりの〇〇」といったワードを耳にすることがあります。私も2023年に有難くも還暦を迎え、集大成的に納得できる暮らしや趣味を考える場面も多くなってきました。

私の趣味はバイクなのですが、80年代にいわゆるバイクブームというものがありません。GPレースなどが地上波でオンエアされていたという今では考えられない時代で、その当時に免許を取得した50〜60代が実は現在のバイク人口のポリウムゾーンとなっています。

私が免許を取った約40年前はバイクに乗っただけで「不良」「暴走族」とレッテル貼られたものですが、最近はい「いご趣味ですね」と好意的に受けとめていただける場面も多く随分取り巻く環境も変わってきました。コロナ禍では一人で楽しむアウトドアギアとして認知度も向上しました。

で、タイトル「NINJA」ってなんなのさ？

NINJAというの川崎重工業が生産するスポーツバイクの総称です。その元祖が1984年にデビューしたGPZ900Rという当時の旗艦モデルで、私の単車歴とほぼ同じ。映画



『トップガン』でトム・クルーズが乗り回しており、「ああ、あれね」とピンとくる方がいらっしやるかも。続編「トップガン マーベリック」でも無事、再登場します(泣)

さて、このNINJA。2003年までの約20年、大きく形を変えず生産された稀有なモデルで、私も含めた一部マニアにコアな人気を誇ります。最大の理由は、完璧なまでにカッコよえスタイリングにあると思えます。(私見)

私も最終型を新車購入して20年以上乗り続けてますが、人気車ゆえの豊富なアフターマーケットパーツを駆使してちまちまと好みにカスタマイズもできる、これがまぐつたく飽きません。ハイパワーをデジタルで制御されている現行車と違って乗り手自身が制御で

きる余地も広く、そこが楽しくもあり。このあたり、古いクルマがご趣味のみならずと意見が合うかも？

20年も乗ってますと走行距離も伸びますが、メーカー純正部品で欠品が目立ってきてます。故障しても寝てたら勝手に治るわけがなく、重要機能部品だけでも生産続けてほしいもんです。

てなわけで、部品があるうちにと一発奮起。エンジンや足回りの重整備を敢行。いわゆる製造公差をゼロに近づけるべくムービングパーツを0.1グラムまで重量を合わせたり、振れ取りなどのマニアックメンテナンス盛りなんです。外見からまったたく何をしたらかが分からないという自己満足全開。勿論、お母ちゃんには内緒です(笑)

自分もバイクも加齢とともに随分乗り方も落ち着いてきました。直線番長時代も今は昔。つーか、この歳まで単車乗りをやっていると免許を取った時には考えてもいませんでした。無事走り続けられていることに感謝。感謝。

時間と手間をこれでもかと注いだNINJAが、私の「終のバイク」になります。

ハンブレイ・T



秋の遠足では堺の南楽園にみかん狩りにいきました。グローバルスクールである当園の様々な国の園児が初めての経験に大はしゃぎ！自分でもぎとったみかんはと一つも甘かったようです！



大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

近ツ橋

調理実習で食育「食べてみよう会」

長橋地活協では子どもの食に関する知識と自分で調理ができる自活力を習得し、健全な食生活を実践するための「食べてみよう会」を毎月第4土曜日にゆ〜とあいで実施している。

毎回季節やイベントに関連したメニューを考え、食育について



学び、スタッフと子どもたちが共に調理する。この日のメニューはハワイの郷土料理であるロコモコ丼。玉ねぎのみじん切りは包丁を扱う練習、ひき肉と合わせてこねる力加減は少し慣れが必要だが、子どもたちは器用に形を整えていく。油がハネるのに気を付けながらハンバーグにじっくりと火を通し、特製ソースも作る。炊きあがったご飯の上にキャベツを敷き詰め、焼き立てハンバーグとプロツコリーを乗せて完成。みんなで手を合わせていただきます。

自分たちで作った料理の美味しさは格別でペロリと完食。最後に洗い物をしてこの日はおしまい。料理をつくることの楽しさと大切さを学べる取り組みだ。

【西田吉志】モヤモヤすること悩むことは常にある。昨年は特に多かったような気がするけど、なんやかんやで周りに助けられて気づけば1年が過ぎた。今年は悩みながらも、たくさんの方にチャレンジしたい。



【谷口円】今年の抱負は「動く！」です。考えるばかりで行動力がない私…。「頑張り」では根本的な性質を変えるのは難しいので、良い自分 HACK 方法を見つけて動いていきたいと思います。



【安田拓也】昨年末は楽塾で芝居を披露。これを書いているときは本番1週間前。1年で確かな成長を感じつつも、求めるほど足らずが見え、近づくほど不安に。「無事終わったか〜い？ 18年目も楽塾ファイト！」



【福井龍磨】京都の正伝永源院を訪れた。茶人の織田有楽斎が晩年に隠居した寺で、桜と紅葉の季節にだけ一般公開される。有楽斎の墓前でしばし合掌。帰り道、祇園の街にはしとしとと小驟雨が降っていた。

葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱのお喋りを聞いてください。



「ナンテンの葉っぱ」の巻

わたしの名前はナンテン。漢字では「南天」とかきます。わたしの性格はのんびり屋。ゆっくり大きくなります。わたしの長所は寒さにつよい。葉っぱの布団があるおかげ。わたしの短所は方向おんち。東西南北がわかりません。わたしの好きなきせつは冬。雪でおしゃれができるから。わたしの願いは無病息災。今年もみんな元気でありませうように。

赤井まゆみ

皆様のおかげで葉っぱの吐息を連載してこの春で6年目を迎えます。これからもよろしく願っています。

ナンテンのこと

メギ科ナンテン属の常緑低木。お正月飾りに用いられる植物としても有名。花言葉は「私の愛は増すばかり」「福をなす」



い湯がげん

103万円春闘を応援する

「103万円の壁」問題がいよいよ佳境に入ってきた。この問題、ちょうど労働組合の春闘を思い起こすような分かりやすい図式になった。絵を描いてくれたのは国民民主党(「国民」)で、いま人気を急上昇している。

簡単に言えば、給料に課税される所得税の最低金額は現在103万円だが、「国民」の要求は75万円アップの178万円まで非課税にせよということ。少数与党に転落した自公両党が交渉のテーブルにかざるをえなくなっている。いま、春闘のような交渉が新聞やテレビでも実況中継されているわけだ。

当然「他にもある壁」への関心も高まった。103万円は税金だが、

106万円で会社規模や労働時間によっては社会保険料が発生し、130万円で年金と健康保険の配偶者適用がなくなる、等々。

また、「もうひとつの春闘」も始まらざるをえない。非課税額が178万円になると減税になるということだから、地方自治体の税収が数兆円少なくなる。自治体は税収が大幅に減収するから、「壁」をそのままにしてくれというバカな知事もいるが、多くの首長は代わりの税収を国に求めることになる。つまり、国への「地方自治体の春闘」だ。

もちろん、「市民の春闘」も必要になる。地方自治体が税収減を理由に教育や福祉の予算を削減しな

いように点検しなければいけない。いま地方議員に一番求められることだ。

ところが、「たかが103万円の壁だ」とか、「他にも「壁」が幾つもある」とか、「国民」はパフォーマンスの後は連立政権に入ってしまうんだらう」とか、いろいろ評論が飛び交っている。あんまり頭をこんがらがらせないことだ。まずは、半世紀近くも続いてきた103万円の壁を打ち破ることの意義は大きい。「壁」とは、自民党一人勝ちの政治が作った薄い壁だったということ。政治に対する成功体験だ。

今回は「国民」がいい仕事をした。でも次はわからない。政党支持なんてところろ変わったら良い。その都度政策で選んで、今回のように見事な議席配分をすることだと思ふ。だから、野党第一党の立憲民主党にも、「大阪第一党」の維新の会にも、もうちょっと具体的な政策を訴えて欲しいと願う。

ところで、「国民」の躍進とは別に、都知事選の石丸さんや兵庫知事選の斎藤さんの躍進もあった。いろ

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



前号でも書いた選挙のことだが、やはり問題だらけになっていると思う。兵庫県知事選挙では斎藤知事が再選された。SNSで拡散した後半になって勢が増し当選。「斎藤さんは悪くない?」「斎藤さんは良い人だ」など今回の事件の真相はまだ明らかになっていないにも関わらず、そうしたSNS上の書き込みや動画に同調する意見が増えていった。

本当にそうなんですかね? 2人の方が亡くなった原因を作ったのは当時の知事と副知事だというのは事実じゃないのかな? 今回の選挙結果は私の心の中でもやもやしたまま。百条委員会の行方を注視したい。

最近SNSの問題を調査した結果がニュースで流れていた。「誹謗・中傷」が30%超もあって、巨大プラットフォームも責任を感じるべきだと報じていたが、私も以前からそう思っている。野放しにしたままでこうしたことが進んでいくと、人の心や社会全体がおかしなことになっていく。大事なのは人間、そして健全な民主主義だと思う。(寺本良弘)



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯がげん」のテーマ探しに出かけます。

いろいろ評論はあろうが、ボクが一番感じたのは、どこかの政党を応援しているだろう人達の「石丸嫌い」「斎藤嫌い」あるいはその逆などエキセントリック(ずれるの)に自信満々な主張は、最大のポリリウム「支持政党なし」層にはまったく影響を与えていないということだ。それどころか、「支持政党なし」層が、一時的に「国民支持」に回って、103万円の壁を破ろうしているのだから、これはなんとも巧妙。斎藤旋風は未だよくわからないことが多いが、石丸旋風はその意味において、「支持政党なし」による巧妙だと思う。



[山村裕太] 意外と一言コメントは何を書こうかなと考えています。そして、今回は全く何も思い浮かばないので面白い話をしようと思いましたが、ここで字数制限となりました。



[若松司] 大河ドラマ「光る君へ」はこれまでにないスタイルでもおもしろかった。ゆったりと流れる会話の時間。屋根と柱だけの住まいを間仕切るのは御簾と衝立ばかり。物語を書くということの意味にも触れていた。

地域の縁を心でつなぐ

松崎ごい 心の時間

され、電話も取れなく、全て筆談による伝達の日々。その不便さに、当たり前前に声を出していたことがありがたさが身に沁みました。

さて、今回の機会をチャンスととらえ、「大切なことに気づいて帰ってくる」と心に決めて入院しました。全身麻酔や手術後の思い通りにならない状態を経験し、様々な縁で人や物に支えられ「生かされている」ことに気づき、感謝の心が芽生えました。

しかし坂本龍馬作とされる座右の銘に「世に生を得るは事を成すにあり」があります。感謝の心で満足するのではなく、自らの誰かの支えとなり、社会貢献すること「事を成す」人生を歩みたいものです。

松向寺 通法

昨秋、突如お経が唱えられなくなりしました。昔から諺をも

じって「男は度胸、女は愛嬌、坊主はお経」などと言いますが、坊主にとって命である「お経」を唱えることができなくなつたのです。原因は声帯ポリープでした。声を出す仕事の方の多くがかかる「病」で、入院してポリープ切除手術を受けました。退院後は声を出すことを禁止

写真は人生の一部が映ったもの。



ワタシ の一枚

『野球観戦でこれ以上ない瞬間に立ち会えた』

2021年11月12日、千葉ロッテマリーンズ対オリックスバファローズ。日本シリーズを賭けた最終戦。同点でもシリーズが確定する場面で3対2と1点ビハインドの9回裏、ドラマが待っていた。この瞬間を現地で立ち会えたのはファン冥利に尽きる。そんな一枚。

(編集スタッフ 磯拓哉)

ここは思い出や自慢の一枚を少しご紹介するコーナーです。



ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 1月号 (vol.215)
発行日: 2025年 1月 1日 (創刊日: 2007年 1月 1日)
発行: 株式会社ナイス
住所: 大阪市西成区長橋 3-6-33
電話: 06-6563-1150
E-mail: info@nice.ne.jp
url: https://www.nice.ne.jp/

編集長: 西田吉志
編集: 磯拓哉、沖田一志、笹川勝正、田岡秀朋、福井龍磨、安田拓也、山村裕太、若司公 (あいうえお順)
イラスト: hidarimaki、西井亜花梨
デザイン: 谷口円

(株)ナイス
ホームページ

